



中春別小学校  
学校便り

# 窓

第5号

発行責任者 校長 荒 雅 樹  
令和 3年 7月21日 発行

## 夏が来ました

7月に入りましたが、雨や曇りが続き、気温もあまり上がってきませんでした。ところが天気が一変。太陽が顔を出して気温もぐんぐん上がり、今度は熱中症対策が必要になる日が続いております。

7月14日から20日までの「水泳週間」では、中春別地区プールにて各学年が1～2回の学習を行いました。2年ぶりの水泳学習。友達との距離を保って楽しむ姿が見られました。

一昨年度と違い、密を避けるため、みんなで重なって遊ぶ場面はありません。また、着替えの待ち時間があったり、プールサイドや遊泳中にも間隔を空けたりしなければなりません。このようなルールを守るために、先生の指示をしっかり聞いて、安全に活動する子どもたちの姿によさや成長を感じます。中春の子たちってやっぱり素晴らしい。

また、確認のため一つ一つの活動と活動との間があり、友達の泳ぎを見たり、自分の泳ぎを振り返ったりする時間があるからでしょうか。1回目より2回目、浮く・潜る時間が増えたり、距離が伸びたり、体の力の抜き方が上手になったりなど上達が見られます。

さらに、「今日、この間より泳ぐ距離伸びたんだよ。」「列車が楽しかった。」「水の中気持ちよかったよ。」「みんなでワイワイできないけどね。」そんな子どもたちの声がプール終わった後に聞こえてきます。制約はありますが、その中で楽しめること。逆を言えば、ルールを守ると、その範囲内で自由に動き回れることも学ぶ機会にもなっています。

参観日にコーンやマーカーを多く設置して距離をとる工夫をお知らせしました。ところが、実際にプールに行ってみると見えていないことがたくさんありました。水泳学習を行った学年から、次に行く学年へとその情報が伝わり、水泳の学習過程の精度が上がっています。更に安全に気を付けるべきことや、もう少し活動の幅を広げられる可能性も随分と見えてきました。学年ごとの人数が少ない中春別小だからできることです。

今年度の水泳での学びは多くの方々によって支えられております。今年度のプール開館を決めて下さった運営委員長はじめ委員の皆様、救命講習の開催や監視のお手伝いの呼びかけなどの連絡調整を図って下さった運営委員会事務局の方、日々の水温や水質等を管理するプール管理人の方、そして夏休み中の監視当番を協力していただける保護者の皆様……。中春別の多く皆様のおかげで子どもたちが水泳での学びを行うことができます。ありがとうございます。中春別地区プールの運営なくして今年度の子どもたちの水泳学習はありません。本当にありがとうございました。

一人一人のバスケットを持たせてバスタオル等を入れることや、間隔をとるための番号札の設置など中春別地区のプールだからこそできたことです。

学校では夏休み明け、次の水泳学習週間を「8月17日から26日まで」と予定しております。その学習を通しての子どもたちの成長が楽しみです。

## なんとか1学期を終えることができました

今年度は順調に4月から学校がスタートしました。しかし、5月中旬から1か月ほどの緊急事態宣言となり、運動会・修学旅行等の行事を延期するなど様々なことがありました。

コロナ感染症を含め、その時、その時に、いろいろなところに対応してきました。そして本日、1学期終業式の日を迎えることができました。「1学期の学校の教育活動や学校運営はどうだったでしょうか。」気になるところです。たくさんの皆様よりアンケートのご回答いただきました。ありがとうございました。皆様や子どもたちから寄せられた声などをもとに、学校では2学期に向けた教育活動を改善していきたいと考えております。まとまりましたら学校便り等でお知らせしたいと考えております。

また、6月に予定していた行事を9月や10月に延期しました。改めて見直すと、行事間が近く密の状態です。そこで年度当初予定しておりました。参観日(9月22日)とマラソン大会2つの行事を今年度は中止することにいたしました。(詳細は別紙にて)

また、行事が集中している9月10月は、行事への取り組みと日々の授業とのバランスをとりながら行っていくことが求められます。行事に向けて集中して取り組む期間は必要ですが、それに比重をかけすぎると日常生活に戻ることにかかりすぎてしまいます。短期間で一気に仕上げる、あるいは長期にわたって取り組むものなど。効果があるものを見極めながら特別時間割を組むことも課題です。

※裏面につづく